

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立北中小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童
実施児童数(72人)

4. 調査の内容

- (1) 学力に関する調査
 - ア 教科は、国語及び算数。
 - イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。
 - ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。
- (2) 学習状況に関する調査
調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「児童アンケート調査」という。)を実施する。
- (3) 学校の取組みに関する調査
調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答率は、全国と比べて10%以上低い。平均正答率の全体的な分布状況は、全体的に低く分布し、上位層が少なく下位層が多い。 平均正答率(本校 63/泉佐野市 71/大阪府 72/全国 74.8)

「B区分問題」

- ・平均正答率は、全国と比べて8%強低い。全国より上回っている問題もあるが、下回っている問題は極端に低い。 平均正答率(本校 49/泉佐野市 53/大阪府 54/全国 57.5)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことを理解することに課題がある。</p> <p>1 学級文庫のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する。(54.2/69.2)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○手紙の構成を理解し、後付けを書くことに課題がある。</p> <p>2 二 手紙の後付けに必要な、日付け、署名、宛名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する(30.6/41.5)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことに課題がある。</p> <p>3 学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むと良い段落をそれぞれ選択する(59.7/74.4)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○古文の言葉の響きやリズムを理解することに課題がある。</p> <p>6 【「外郎売」の一部】を音読して気がついたことの説明として適切なものを選択する(61.1/71.1)</p> <p>○漢字を正しく読み書きすることに課題がある。一度覚えたことを時間が経つと忘れてしまう。繰り返し反復練習をすることが必要である。</p> <p>7 (1) 参加たいしょう(→対象) (19.4/42.0)</p> <p>7 (2) 4年生のきぼう者(→希望) (66.7/80.0)</p> <p>7 (3) 申し込み期限(→きげん) (79.2/94.5)</p> <p>7 (4) 事務室前(→じむしつ) (65.3/88.8)</p> <p>7 (5) 箱がおいてあります(→置) (51.4/76.8)</p> <p>7 (6) 指示(→しじ) (79.2/94.5)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>○「動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す」ことに課題がある。</p> <p>1 一 スピーチ練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する(65.3/77.2)</p> <p>○「目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す」ことに課題がある。</p> <p>1 三 折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く(29.2/48.4)</p>	<p>○「物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる」ことに課題がある。</p> <p>3 三 「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけを書く(33.3/43.7)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	54.2	60.5	◇	6.3
国語の勉強は大切だと思いますか	94.5	91.2		3.3
国語の授業の内容はよくわかりますか	80.5	82.2		1.7
読書は好きですか	70.8	74.3		3.5
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.5	87.9		0.4
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	58.3	68.0	◇	9.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	63.9	63.4		0.5
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけて書いていますか	72.2	74.8		2.6
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	94.5	97.3		2.8

国語A

- 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】の特に漢字が苦手である。一回覚えたことを時間が経つと忘れてしまい、定着が難しい。
- 【話すこと・聞くこと】では、話をしっかり聞いて理解することが苦手である。
- 【読むこと】では、目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことが苦手である。

国語B

- 【話すこと・聞くこと】は、他の領域に比べれば出来ているが、全国に比べれば正答率は低い。
- 【読むこと】は、苦手である。
- どの設問においても、無答率は全国に比べて高い。選択式の設問では無答率は低いが、記述式では高い。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(算数)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答率は、全国と比べて9.6%低い。特に図形は、20.5%、数量関係は、13.4%と大きく全国を下回っている。

平均正答率(本校 69/泉佐野市 76/大阪府 78/全国 78.6)

「B区分問題」

- ・平均正答率は、全国と比べて11.9%低い。全体的に上位層は少なく、下位層に多い。無答率も11問中8問全国を上回っている。

平均正答率(本校 34/泉佐野市 42/大阪府 45/全国 45.9)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○数直線上の1あたりの量が理解出来ていても、分量とそれの対応する全部の量の位置関係がわかっていない回答が多い。</p> <p>1 (2) 買ったリボンの長さ、1m当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ (57.7/69.9)</p> <p>○四則計算の順序を誤っている。小数点のかけ算で小数点の位置がずれている。小数の計算で位がずれている。</p> <p>2 (3) $6 + 0.5 \times 2$ を計算する (50.7/66.6)</p> <p>○割り算の横式を分数で表すことは、概ねできている。</p> <p>2 (4) $5 \div 9$ (商を分数であらわしましょう) (84.5/69.2)</p> <p>○最小公倍数を、最大公約数や公約数と混同している回答がめだつ。特に8と12の公約数2の回答が多い。</p> <p>3 8と12の最小公倍数を求める (71.8/86.2)</p> <p>【図形】</p> <p>○正五角形の内角である108度や、正六角形と混同した60度、180度を分けた36度、無回答など誤答が多かった。360度の感覚を掴むこと、正多角形の形質の理解が課題である。</p> <p>6 円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く (45.1/75.5)</p>	<p>○誤答の中では、垂直と平行の混同が最も多い。立方体の一面に対し、平行である面は1つしかないところでつまづいている。</p> <p>7 立方体の展開図から、示された面と平王な面を選ぶ (76.1/86.7)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○問題場面を表すときに、式に口が入ると、1あたりの量や分量など、基本的な量の関係がわかりにくくなり、誤答・無回答が増える。文章題の読み取りに課題がある。</p> <p>8 はじめに持っていたシールの枚数を口としたときの問題場面を表す式を選ぶ (67.6/83.6)</p> <p>○二つの表を比較するとき、見ているところがずれた可能性がある。二次元表の読み取りにも課題がある。</p> <p>9 (1) 出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ (78.9/88.0)</p> <p>○2つめの表に数字を当てはめ、計算した結果、数字を入れる際に間違えたり、計算を誤ったりしている。</p> <p>9 (2) 二次元表の合計欄に入る数を書く (38.0/62.8)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○条件から式を立てることに課題がある。 1(1) カードの差が4の場合の、2けたの引き算の式と答えを書く (64.8/76.0)</p> <p>○数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表すことに課題がある。 1(2) 示された考えを基に、54-45の場合残る部分を図に示す (67.6/81.8)</p> <p>○数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述することに課題がある。 1(3) 2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く (22.5/38.6)</p> <p>○数の関係性に着目して、示された方法を問題場面に適用することに課題がある。 2(2) 13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を三等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く (14.1/27.4)</p>	<p>【数量関係】</p> <p>○式の中の数の意味を、表と関連づけながら解釈することに課題がある。 4(1) 示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを書く (21.1/39.8)</p> <p>○割合を解釈して、関係を表している図を判断することに課題がある。 5(1) 「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ (49.3/65.0)</p> <p>○基準量と割合を基に、比較量を判断することに課題がある。 5(2) 与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く (2.8/13.2)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	65.3	65.9		0.6
算数の勉強は大切だと思いますか	94.5	93.0		1.5
算数の授業の内容はよく分かりますか	87.5	80.6	◇	6.9
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	81.9	75.7	◇	6.2
算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	81.9	81.1		0.8
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	69.4	69.1		0.3
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.9	89.1		0.2
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	76.4	81.4	◇	5.0
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	76.4	82.6	◇	6.2
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	83.4	86.0		2.6

算数A

○四則計算の順序を間違っている。小数点の位の位置がずれている。

○最大公約数、最小公倍数の理解が不十分で間違える。

○分量から式を立てる事が難しい。問題の読解力にも課題がみえる。

○二次元表の理解に課題がある。

算数B

○条件から式を立てることに課題がある。読解力の課題にも関係すると考える。

○数量の関係性を一般化することが難しい。

○図や表の読み取りに課題がある。

○与えられた情報から解釈し、図や表にあらわすことに課題がある。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(児童質問紙より)

本校の子どもたちの意識調査を、選択肢1, 2を当てはまる, 3, 4を当てはまらないとして捉える。また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、全国と比較している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の事を肯定し何事にも前向きにとりくめると感じたり、自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を聞くことが出来ていると感じている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか <97.3/94.8> ○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか <82.0/77.4> ○友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか <58.4/52.2> ○友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができますか <97.2/94.3>
【家庭生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> 朝起きるのが遅くなり朝食を食べられないまま登校している児童がいる。 携帯電話を使っている時間、テレビやビデオを見ている時間が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食を毎日食べていますか <90.3/95.4> ○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか <86.1/91.2> ○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(4時間以上) <22.2/16.6>
【学校での学習の様子】	<p>(国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> 読む力が課題。 読書経験の少なさが原因と考えられる。 書いて表現する力に課題。 <p>(算数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 意欲はあるが工夫したり考えたりすることに苦手意識を持っている。 習熟度別指導で自信がついている。 <p>(総合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な活動、グループワークをやれているが、深いところにつながない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか <47.2/33.6> ○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <47.3/69.8> ○5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか <63.8/75.1> ○5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか <57.0/76.2>

	<p>・めあて，振り返り，まとめの時間確保が必要。</p>	<p>○5年生までに受けた授業で扱うノートには，学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか <79.2/88.7></p> <p>○国語の勉強は好きですか <54.2/60.5></p> <p>○国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしていますか <58.3/68.0></p> <p>○算数の授業の内容はよく分かりますか <87.5/80.6></p> <p>○算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか <81.9/75.7></p>
--	-------------------------------	---

本校の取組み

◎これまでの取組み

【自ら考え共に学び合う体験的な活動(授業)を通して、コミュニケーション豊かにつながる子どもの育成を目指すための取組み】

(1) 言語活動・コミュニケーション活動の充実

- ① 全ての授業で「聴く」「表現する」活動を工夫し、相手の思いや考えを能動的に理解しようとする、積極的に自分の思いや考えをわかりやすく伝えようとする態度を育む。
 - ・読み聴かせ活動 ・聴き方「あいうえお」 ・ペア学習及びグループワーク
 - ・話し方「かきくけこ」 ・伝わりやすい書き方ワーク ・プレゼンテーション 等
- ② 人と関わる楽しさを感じることや、他者との出会いを積極的に取り入れる。
 - ・交流活動 ・人と関わる体験的な学び ・まなびんぐスクール 等

(2) 体験的な学びを通して、信頼感や安心感であふれる集団づくり

- ① 目標に向かって集団活動を企画・運営する。
 - ・共有できるルールづくり ・チームとしての活動づくり 等
- ② 自分を振り返る機会を習慣づける。
 - ・振り返りジャーナルや日記 等
- ③ 本音を語り合え、心情を共有する関係づくり。
 - ・相互に伝え合い聴き合うオープンクエスチョンワーク 等
- ④ 人間関係の実態把握を進める。
 - ・集団生活のアンケート調査と内面把握の個別の相談活動

(3) 自力解決の力を育てる生活や授業での学び

- ① 自己選択と自己決定を積み重ねるしかけを組み込む。
- ② 基礎基本の習熟を図ると共に、活用力を高める。
- ③ トラブルの解決のために、全学年がセカンドステップに取り組む。

【基礎基本の定着のための取組み】

- (1) 学力向上の一環として、基礎・基本の習熟と活用能力を高めることを目標に、習熟度別指導を中心に取り組む。
- (2) 朝学習を充実させ、漢字や計算の力をつける。
- (3) 研究授業や校内研修を計画的に行い、積極的な意見交換により個々の授業力向上を目指す。

◎これからの取組み

【基礎基本の定着】

- (1) 力だめしプリント等を有効活用し、読み書き計算の習得に力を入れる。
- (2) 反復学習による基礎基本の習熟に力を入れる。
- (3) 図書室を整備し、読書活動を充実させていく。
- (4) 休憩時間や放課後の時間での個別の補充学習を充実させていく。

【授業改善による授業内容の向上】

- (1) 授業力向上のため、研究部を中心として授業改善に取り組む。
- (2) 研究授業及び研究討議の内容を充実させ、授業力の向上を目指す。
- (3) 少人数・習熟度別学習を効果的に利用し学力アップにつなげていく。

【家庭との連携】

- (1) 朝食の重要性、テレビ・ゲームの悪影響を訴え、家庭との連携を深める。
- (2) 北中ぱっちりウィークを活用し、家庭での学習状況を充実させる。
- (3) 学校だより・学年だより・学校ホームページ等を通じて積極的な情報発信に努める。

【落ち着いた学習環境】

- (1) セカンドステップの取組みを続け、感情のコントロールを身につけさせる。
- (2) ふわふわ言葉の取組みを続け、あたたかく落ち着いた学習環境を構築する。
- (3) 教室の掲示物等はユニバーサルデザインを意識し、環境を整える。
- (4) スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを活用し、心のケアに努める。